

# 感染状況・医療提供体制の分析(5月4日時点)

【岡山県専門家有志】  
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 *①～③は過去1週間合計		前回の数値 (4月27日時点)	現在の数値 (5月4日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	4151人 (221.2人)	2924人 (155.8人)	→	<b>総括コメント</b> レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要	
		60歳以上 (総数に占める割合)	341人 (8%)	236人 (8%)	→		
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	2217人	1496人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり159人</u> と減少。陽性者における割合は、10代以下で増加し、約4割を占めている。クラスターも継続的に発生。今年のGWは、昨年・一昨年と比べて人流増加が著しかった。また、GW期間中で検査が滞った状況もあるため、今後の感染状況を注視する必要がある。感染の再拡大を防ぐため、ワクチン接種や基本的感染対策の徹底が必要となる。	
		県南西部	1574人	1072人	→		
		高梁・新見	38人	37人	→		
		真庭	42人	16人	→		
		津山・英田	275人	294人	→		
	市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	1201人 (調査中を除く)	870人 (調査中を除く)	→	
			割合 (③/①)	41.8% (調査中を除く)	39.3% (調査中を除く)	→	
	医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	127人 (23%)	102人 (18%)	→	<b>総括コメント</b> レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
⑤宿泊療養者数		129人	102人	→	入院患者数、宿泊・自宅療養者数とも減少し、医療の逼迫は改善されつつある。		
⑥自宅療養者数		4383人	3320人	→			
⑦重症者数		2人	1人	→			